

(三) 風船虫の唄

黒い点が飛んでくる

何十匹もの黒い斑点が

黒いハンカチのように

池の水面に広がると

競技でもするように

一斉に水底目指して水を蹴る

力の違いがハンカチの形を崩し

水底に着くや木の葉や紙くずに吸い付くや

今度は水面へと一斉に浮き上がる

これまた見事な競技の再現だ

水の中で別のごみに乗り移るやつもいる

上が天国で水底が地獄か

逆の哲学も成り立つのか

やがて黒い一匹ずつが

無言で羽音を立て、姿を消してゆく

途中でトンボや蜂に食われる奴もいる

もう黒いハンカチはこの世から姿を消してし

まった

その切れ端すら

どこにも見当たらない

糸くず一本残ってはいない

(二〇一九年九月二五日)